

大江町まち・ひと・しごと創生総合戦略



平成 27 年 10 月策定

目 次

1	総合戦略の位置づけ	1
2	対象期間	1
3	推進体制・進行管理	1
4	基本目標	2
5	施策展開	
	基本目標 1	
	おおえの豊かな地域資源を活用し雇用をうみだす	4
	基本目標 2	
	おおえに新しい人の流れをつくる	7
	基本目標 3	
	おおえの若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	9
	基本目標 4	
	おおえの地域力の強化と安心・堅実な暮らしをまもる	11

1 総合戦略の位置づけ

本総合戦略は、「まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）」第 9 条に基づき、「大江町総合計画（第 9 次）」との整合性を図りながら、「大江町人口ビジョン（仮称）」に示された本町人口の現状と将来の姿を踏まえ、人口減少克服を目的として、本町の実情に応じた今後 5 か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示すものである。

2 対象期間

平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間

3 推進体制・進捗管理

外部有識者等で構成する「大江町まち・ひと・しごと創生町民会議」において、毎年、基本目標に係る数値目標や具体的な施策に係る重要業績評価指標（K P I[※]）の達成度等をもとに、実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて、総合戦略の見直しを行う。

※K P I : Key Performance Indicator の略称。

施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標。

4 基本目標

国のまち・ひと・しごと創生総合戦略及び大江町人口ビジョンを踏まえ、4つの基本目標を以下のとおり定める。

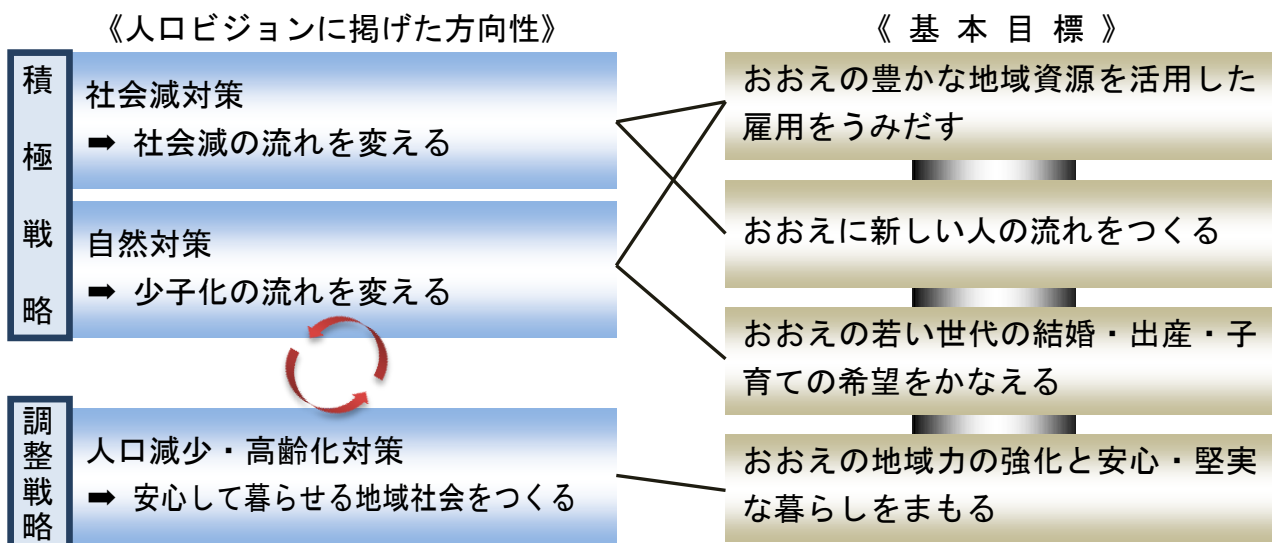
基本目標 1 おおえの豊かな地域資源を活用し雇用をうみだす

基本目標 2 おおえに新しい人の流れをつくる

基本目標 3 おおえの若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

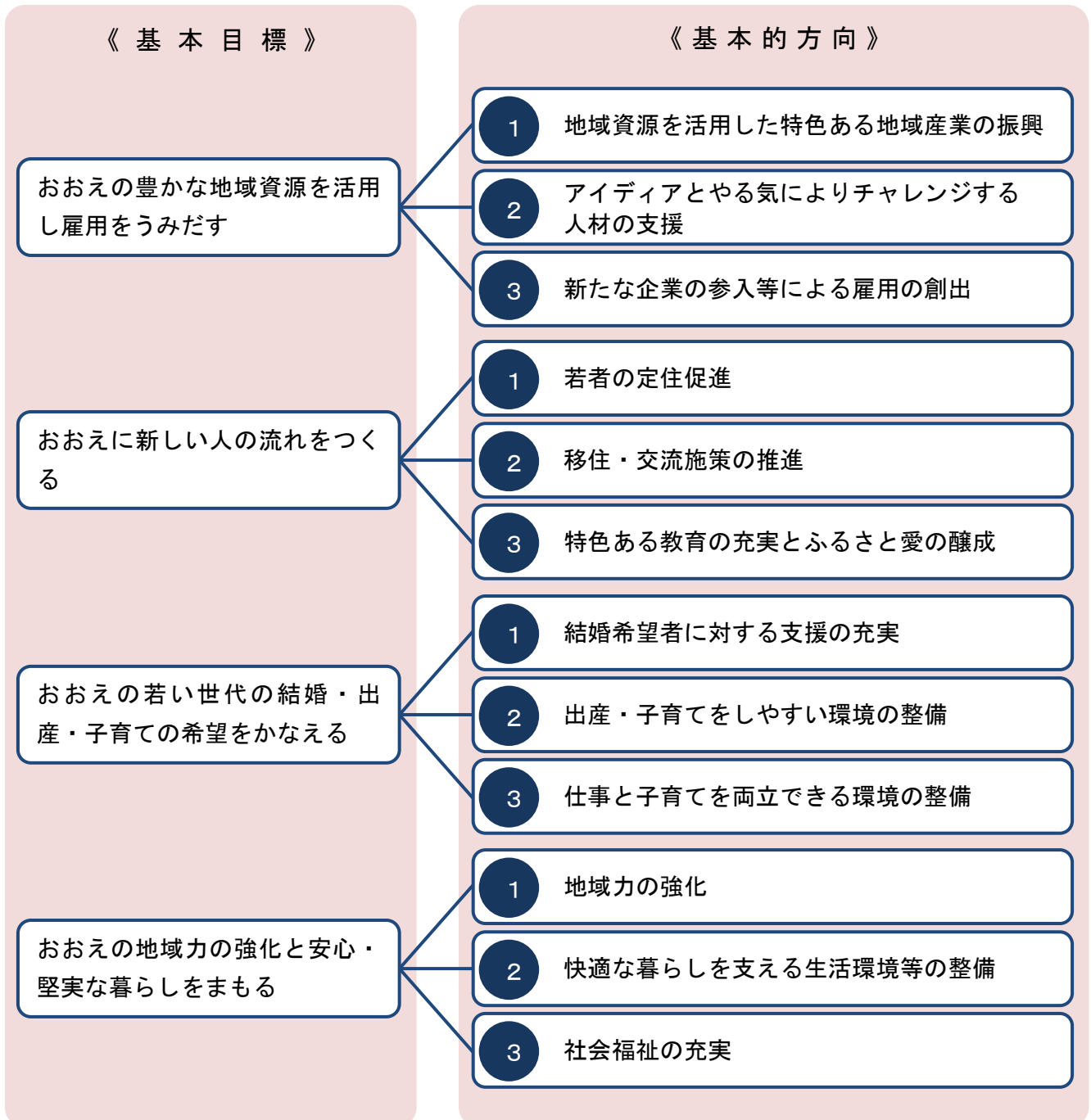
基本目標 4 おおえの地域力の強化と安心・堅実な暮らしをまもる

人口ビジョンに掲げた方向性と総合戦略の基本目標の関係



5 施策展開

基本目標の実現に向け、講ずべき施策に関する基本的方向や具体的な施策は次のとおりである。また、基本目標における数値目標や各施策における重要業績評価指標（KPI）を設定する。



基本目標①

おおえの豊かな地域資源を活かし雇用をうみだす

《数値目標》

指標	基準値	目標値
雇用創出数 [※]	—	5年間で100人

※ 新規就農（林）者数、起業・創業件数（起業等に伴う被雇用者含み）、企業誘致による雇用創出数、公有地等の利活用による雇用創出数、雇用促進助成金の助成対象者数の計

《施策の基本的方向》

(1) 地域資源を活用した特色ある地域産業の振興

多様な農産物や豊富な森林資源、歴史ある町並みなど、地域資源を活かした産業を振興する。

(2) アイディアとやる気によりチャレンジする人材の支援

若者や女性等の多様な主体による創業・新規就農等のチャレンジを支援する。

(3) 新たな企業の参入等による雇用の創出

町内立地企業の関連企業等の誘致を展開することなどにより雇用を創出する。

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

★：重点的取組み

(1) 地域資源を活用した特色ある地域産業の振興

(農業)

○ 経営基盤を安定化し、「稼げる農業」を実現するため、農産物の高付加価値化やブランド化の取組みを推進する。

- ・本町で誕生した新品種すももの生産・販売拡大や加工品の開発等による産地化・ブランド化の推進
- ・優良な酒米産地としての特性を活かした、酒米の生産拡大と更なる品質向上
- ・生活クラブ組合員との人と人との交流継続による農産物の全国への販路拡大に向けた支援
- ・鮮度保持等のための新技術活用による新たな加工品の開発と販路拡大
- ・農産物のブランド化に向けたPRのためのパッケージ（包装紙）等の開発

★ 若者や女性など多様な担い手の受け皿となる農業法人等の設立を推進するとともに、自立した経営に向けた支援を行う。

○ 本郷地区及び三郷地区を重点地区として、女性グループの組織化と農業の魅力発信等を支援するとともに、女性ならではの視点を活かした製品化やブランド化の取組みを推進する。

(林業)

★ 山形県が推進する「やまがた森林（モリ）ノミクス」の取組みと連携しながら、木材・林産物の生産から販売までの総合的な支援や林業経営の指導的人材の受入れを行う。

- ・大江町型住宅など住宅建材への利用促進等による西山杉の販路拡大

- ・山菜・きのこなどの特用林産物の生産・販路拡大
- ・木質バイオマス及び温泉を活用した熱利用
- ・特用林産物や林業副産物を活用した特産品の開発支援
- ・林業法人等の設立推進及び林業経営の専門知識を有する人材の受入れ
- 七軒地区を重点地区として、女性グループの組織化と林業の魅力発信等を支援するとともに、女性ならではの視点を活かした製品化やブランド化の取組みを推進する。
- （畜産業）
- やまがた地鶏の特産品としての磨き上げを推進する。
 - ・食鳥処理施設の整備
 - ・飼料用米等の活用によるコスト縮減
 - ・加工商品の開発や販路開拓
- （商工業／6次産業化）
- 産学官の連携により町内消費の拡大と商業の活性化を支援する。
- 町内の農畜産物等を用いた加工商品開発や販路開拓など、6次産業化の取組みを推進する。
- （観光）
- 町の歴史、国の選定を受けた重要文化的景観、山岳資源、雪などの本町ならではの観光資源を活かした誘客を推進する。
- 大江町観光物産協会、観光ボランティアガイドの会等と連携し、体験プログラムを含めた着地型観光を推進する。
- 村山地域の市町等との連携や宮城県仙台地域との連携により広域観光や物産の振興、交流人口の拡大等の取組みを推進する。

《重要業績評価指標（KPI）》

- ・大江町型住宅の着工件数 15件（H27～H31）
- ・観光客数 年間6,878百人（H26） → 年間7,100百人（H31）
- ・やまがた地鶏の新規販路開拓 10件（H27～H31）

（2）アイデアとやる気によりチャレンジする人材の支援

- 新たに農業を志す就農希望者の掘り起こしから就農に至る過程においてきめ細やかな支援を行う。
- 若者や女性等の多様な主体の起業・創業に対する総合的な支援を展開する。
 - ・町内での新たな起業・創業に要する経費に対する助成
 - ・商店街の空き店舗等を活用したチャレンジショップの整備
- ★ 相談窓口の設置など、チャレンジする人材をサポートする体制を整備する。
- 町内企業における技術者の資格技能の習得を支援する。

《重要業績評価指標（KPI）》

- ・新規就農研修生受入者 延べ人数 10人／年（H27～H31）
- ・町及び商工会の支援制度を活用した起業・創業件数 5件（H27～H31）

(3) 新たな企業の参入等による雇用の創出

- 工業団地の造成を図りながら企業の立地促進のための助成制度等の活用などにより、本町出身者の人的ネットワークを活かした誘致活動や近隣の進出企業の取引先をターゲットにした誘致活動を展開する。
- 既存の町内企業の規模拡大に対する支援を行う。
- ★ 左沢駅前公有地や旧きらやか銀行大江支店等の利活用によりビジネスと賑わいを創出する。

《重要業績評価指標（KPI）》

・企業立地件数 2件（H27～H31）

基本目標②

おおえに新しい人の流れをつくる

《数値目標》

指標	基準値	目標値
転入者数－転出者数	▲50人（H24～26平均）	▲15人（H31）

《施策の基本的方向》

（１）若者の定住促進

町外へ進学した若者の就職機会等を捉え、町内への回帰・定住を促進する。

（２）移住・交流施策の推進

県や近隣市町との連携のもと、本町出身者や移住希望者のU | Jターンを推進する。

（３）特色ある教育の充実とふるさと愛の醸成

生まれ育ったふるさとの歴史や文化を学び、町内外の交流を進め、本町に対する誇りや愛着を醸成することにより、町内回帰・定住につなげる。

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

★：重点的取組み

（１）若者の定住促進

- ★ 第二成人式の開催等により、町外へ進学・就職した若者と地元との交流を促進することで、町内回帰への意識醸成を図るとともに、若者の社会参加の推進と地域を担う人材の育成・確保を図る。
- 県や産業界等と連携し、町内に回帰した若者の奨学金の返還支援制度を創設する。
- 町民を正社員として雇用した事業主及び新規学卒者の被雇用者に対する助成により地元就労を促進する。
- 若者や子育て世代向けの町営住宅を整備する。
- 若い世代に低廉で魅力ある宅地を提供するため、住宅団地を造成する。

《重要業績評価指標（KPI）》

・ 藤田住宅団地の販売区画数 21区画完売（H31）

（２）移住・交流施策の推進

- 新たに農業を志す就農希望者の掘り起こしから就農に至る過程においてきめ細やかな支援を行う。【再掲】
- ★ 農林業に興味・関心のある女性を呼び込み、女性の新規就農者等を確保するため、女性グループの組織化を図り、女性就農希望者等に対する支援体制を強化する。
- 山里交流館（自然体験型宿泊施設）の運営により都市住民等に対し自然体験プログラム等の提供を行う。
- 県や近隣市町と連携し、移住交流人口の拡大に向け情報発信や受入態勢整備など移住促進プログラムを展開する。

- ・ 県が運営する「やまがたハッピーライフ情報センター」等を活用した移住希望者への情報発信
 - ・ “おおえ暮らし体験プログラム” の提供
 - ・ 移住体験のためのお試し居住等の受入態勢の整備
 - ・ 空き家・空き地情報提供制度（空き家バンク）の運営と登録者・利用者に対する改修費用等の支援
- 総務省の地域おこし協力隊制度を活用した定住・定着支援を行う。

《重要業績評価指標（KPI）》

- ・ 新規就農研修生受入者 延べ人数 10人／年（H27～H31）【再掲】
- ・ 空き家バンクを利用して空き家を賃貸又は購入した件数
2件（H26） → 3件／年（H27～H31）
- ・ 山里交流館利用者数 1,000人／年（H27～H31）

（3）特色ある教育の充実とふるさと愛の醸成

- ふるさと教育、キャリア教育など社会に対応できる特色のある学校教育を推進する。
- 学校教育、社会教育において町の歴史や祭り、自然等の地域の魅力を学ぶ機会の充実を図るとともに、自然体験活動や社会体験活動などの実体験を重視した「ふるさと学習」を推進する。
- ★ 町民大学を新たに設置するなどして、いきがいと活力を創る生涯学習を推進する。
- 心豊かな地域社会の創造や仲間づくりにつながる芸術文化活動を推進する。
- 郷土の誇りである伝統文化や文化財を大切にし、次世代に継承していくとともに、まちづくりへの利活用を図る。
- 総合型地域スポーツクラブの育成やモンテディオ山形、パストラボ山形ワイヴァンズ、楽天ゴールデンイーグルスなどの地元プロスポーツチームとの連携等により、スポーツを通じた地域交流の場を創出する。

《重要業績評価指標（KPI）》

- ・ 地元就職[※]を希望する学生の割合 44.2%（H27） → 50%（H31）
[※]大江町に居住し近隣市町村への通勤する場合を含む。

基本目標③

おおえの若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

《数値目標》

指標	基準値	目標値
合計特殊出生率	1.57 (H23~25 平均)	1.78 (H31)
出生数	46 (H26)	50 [※]

※ 人口ビジョンの将来推計に基づく5年間(H27-31)の出生数の平均値

《施策の基本的方向》

(1) 結婚希望者に対する支援の充実

若者が結婚を前向きに捉え、結婚を希望し、出会い・結婚につながる支援を充実させる。

(2) 出産・子育てをしやすい環境の整備

安心して子どもを産み育て、子育ての楽しさを実感することができるよう、子育ての不安・負担を軽減し、出産・子育てをしやすい環境の整備を図る。

(3) 仕事と子育てを両立できる環境の整備

女性の就業率が高い中で仕事と子育てを両立できる環境を整備し、女性が子育てしながら活躍できる環境づくりを推進する。

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

★：重点的取組み

(1) 結婚希望者に対する支援の充実

- ★ 近隣市町や県が運営する「やまがた出会いサポートセンター」と連携し、婚活イベントの開催など、町内外の独身者同士の出会いの機会を創出する。
- 婚活コーディネーターを委嘱し、結婚の推進に関する助言や婚活事業に関する情報収集及び提供を行う。

《重要業績評価指標（KPI）》

・婚姻数 24件 (H25) → 30件 (H31)

(2) 出産・子育てをしやすい環境の整備

- 不妊に悩む夫婦への不妊治療費に対する支援の充実を図る。
- 子どもの医療費負担や保育料など、子育て世帯への経済的不安に対する支援の充実を図る。
- 乳児訪問指導や子育て支援センターにおける研修・育児相談の実施など、子育てに関する切れ目のない支援体制の整備を図る。
- ★ 三世代同居や自宅保育家庭など、家族の支えあいによる子育て支援の充実を図る。
- 子育てや社会経験が豊富なシニア力を活用した、地域全体の支え合いによる子育て支援の充実を図る。

《重要業績評価指標（KPI）》

- ・いきいき子育て支援（3人目以降の保育料等の無料化）
39人（H27） → 45人（H31）
- ・子育て支援センター利用実績 1,748人（H26） → 2,344人（H31）

（3）仕事と子育てを両立できる環境の整備

- 認可保育所について、町内の施設のあり方を見直し、2つの町立保育所を1か所に統合するとともに、施設の改修等により必要な保育の量の確保を図る。
- ★ 早朝・延長保育や一時保育等の多様なニーズに応じた保育サービスの充実・拡大を図る。
- 子育て協力会員と子育て依頼会員によるファミリー・サポート・センターの推進により、地域の中で助け合い送迎や預かりの支援を行う。
- 学童クラブと放課後子ども教室を統合し、児童の居場所づくりを行うとともに、送迎支援や利用環境の充実を図る。

《重要業績評価指標（KPI）》

- ・ファミリー・サポート・センター活動実績 10件（H26） → 55件（H31）
- ・放課後児童クラブ利用者数 33人（H26） → 68人（H31）

基本目標④

おおえの地域力の強化と安心・堅実な暮らしをまもる

《数値目標》

指標	基準値	目標値
大江町に住み続けたい と思う町民の割合	63.5% (H27)	70% (H31)

《施策の基本的方向》

(1) 地域力の強化

住民と地域の絆を再構築し、集落活動を強化する取り組みを進めるとともに、集落人口の減少によって生じている課題の解決に向けた支援を推進する。

(2) 快適な暮らしを支える生活環境等の整備

災害や雪に強いまちづくりなど、安全・安心・快適に暮らせるよう身近な生活環境を整備する。

(3) 社会福祉の充実

誰もが健康で生きがいのある生活を送れるよう保健や医療、福祉サービスの充実を図る。

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

★：重点的取組み

(1) 地域力の強化

- ★ 地域住民の発案による地域づくり計画に対する支援を行い、地域が自主性と主体性を持って取り組む活動を支援する。
- 若者や女性による地域づくりに対する支援を行い、若者や女性が活躍できる環境づくりを進める。
- ★ 第二成人式の開催等により、町外へ進学・就職した若者と地元との交流を促進することで、町内回帰への意識醸成を図るとともに、若者の社会参加の推進と地域を担う人材の育成・確保を図る。【再掲】
- 町や自治会が行う事業へ中高生の参加を促進し、子どもたちの社会交流体験活動を推進するとともに、幅広い世代間の交流を図る。
- 子育てや社会経験が豊富なシニア力を活用した地域づくりを推進する。

《重要業績評価指標（KPI）》

・地域づくり計画の策定数 ー地区（H26） → 15地区（H31）

(2) 快適な暮らしを支える生活環境等の整備

- ★ 行政と地域が連携した除排雪等対策体制を構築し、地域における共助・公助の克雪の取組みを推進する。
- 克雪化のための増改築・修繕工事、屋根や敷地内の雪処理作業等の軽減を図るため

の屋根の改良等への助成など、住宅の克雪化を支援する。

- 子どもや高齢者等の交通弱者が利用しやすい路線バス、デマンド型タクシーの運行体制を確保する。
- 消防防災施設等の充実、情報通信網の整備、備蓄品の拡充とともに、自主防災組織の育成や大規模災害等に対する地域防災体制の整備、避難所機能の強化を進める。

《重要業績評価指標（KPI）》

- ・ 除雪支援員の確保 5人／年（H27～H31）
- ・ 町営交通機関（町営バス及びデマンドタクシー）の1人当たり年間利用回数 2.1回（H25） → 2.5回（H31）
- ・ 活動環境の向上による消防団員の増員 2人／年（H27～H31）

（3）社会福祉の充実

- 各種健康診査や健康教室等の実施、介護予防事業の強化などにより、高齢者の生涯にわたる健康づくりを推進する。
- 高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、能力に応じ日常生活を送ることができるよう、地域包括支援センターが中心となり、医療、介護、予防、住まい、生活支援のサービスを切れ目なく提供する地域包括ケアシステムを構築する。
- ★ 雪下ろし費用に対する支援や買物に対する支援、緊急通報装置の設置支援など、一人暮らしの高齢者等の健全で安らかな日常生活を確保するための取組みを推進する。
- 介護サービスの円滑な利用と質の向上に努めるとともに、介護する家族の身体的、精神的負担を軽減する取組みを推進する。
- 障害者等が自立した日常生活や社会参加ができるよう、個々の能力や特性に応じた支援を行うとともに、通院費用等の助成など経済的負担の軽減を図る。

《重要業績評価指標（KPI）》

- ・ 特定健診の受診率 47.6%（H25） → 60%（H31）
- ・ 介護予防事業参加者数 延べ3,850人（H26） → 延べ5,000人（H31）

